

平成28年度教育プログラム（北アルプス医療センターあづみ病院）

段階	対象	到達目標	教育方法		研修内容	日程
			実践教育	OJT		
ランク1	1年目 2年目	1.看護技術が安全・確実に実践できる 4.組織の一員として自覚を持ち責任ある行動がとれる 5.新人教育プログラムに沿って学習し実践に生かすことができる	・プリセプターシップ(基礎看護技術チェック(6、9、12、3月)) ・新人看護教育プログラム ・事例発表(3月)	・各部署における毎月の学習会	・職場内での学習会(基礎・応用看護)  ・新人教育プログラムに沿って実施 ・eラーニング基礎習得コース(選択した3研修修了が必須) ・事例検討会 ・アンガーマネジメント研修	通年
		1. 根拠をもって考えながら看護ができる 2. 看護の展開ができる	・2年目研修 ・事例発表(2月) ・教育担当者研修(人材育成連携)	・各部署における毎月の学習会	・2年目教育プログラムに沿って実施 2年目事例検討会 ・eラーニング基礎習得コース(選択した3研修修了が必須) 看護部長、新人研修担当者、プリセプター担当者	通年
ランク2	3年目 5年目	1.看護過程をふまえた個別ケアが実施できる 2.日々のリーダーの役割が果たせる 3.組織の一員としての役割が果たせる 4.後輩への指導・支援ができる 5.院内研修を看護実践に生かせる 6.自身の看護観を確立できる 7.キャリア開発について方向性を考えることができる	・事例検討を通して看護観を育成(振り返り発表会) ・チーム員としての役割認識  ・看護研究	・各部署における毎月の学習会  ・基礎看護技術チェックと評価	・eラーニング中堅コース(選択した3研修修了が必須) ・事例発表を通じて看護観を高める(倫理事例含む) ・振り返り研修の中で、自己活用についての認識と今後の方向付けをする ・プリセプター研修 ・日々リーダー研修 ・アンガーマネジメント研修  ・eラーニング看護研究コース(全シリーズ終了が必須) ・看護研究のプレ研修(看護協会) ・看護研究発表会や院内外での学会発表	通年
		1.プライマリナーズとしての役割を実践できる 2.他部門との連携・調整ができる 3.あらゆる場面でリーダーの役割が果たせる 4.キャリア開発についての実践を行うことができる 5.適切な人材育成の検証と評価	・困難事例やクレーム検討を通じコミュニケーションスキルを育成 ・リーダーシップ研修(育成) ・固定チームナーシング研修	・各部署における毎月の学習会 ・倫理事例検討会	・eラーニング中堅コース(選択した3研修修了が必須) ・職場内での学習会 ・アンガーマネジメント研修 ・チームリーダー研修会 ・固定チームナーシング長野地方会発表 ・固定チームナーシング院内成果発表会	通年 通年 通年
ランク4	10年目以上	1.臨床に活用できる幅広い知識と技術を習得する 2.人材育成に関与して、看護単位の質の向上を図る(10年～20年)	・事例検討を通して専門性を育成 ・組織理論と役割認識 ・看護業務手順に沿って整合性を担保する	・自己役割レポート ・自部署でのグループワーク	・eラーニング管理職・医療チームコース(3研修修了必須) ・幹部看護師研修会、看護管理研修ファーストレベル ・各種学会参加、マネジメント研修、各種認定資格、実践資格等	
		1.看護単位の活性化を行い、組織のなかでの個々の枠割りを遂行できる(21年～)	・組織理論と役割認識 ・看護業務手順に沿って整合性を担保する	・自己役割レポート ・自部署でのグループワーク	・eラーニング管理職・医療チームコース(3研修修了必須) ・看護協会、日精看、各種協会主催研修会、各種学会参加	
		1.その分野の専門性を高め、組織の中で中心的役割を担う看護師を目指す(エキスパートコース)	・院外専門研修		・各種認定看護師育成 ・専門看護師育成 ・領域別各種認定研修会	
集合教育		1.看護の質の向上に向け、医学的知識を身につけ、エビデンスに基づいたケアができる(看護技術の統一化) 2.接遇の重要性を理解し、一人一人が心をこめた対応ができる(職業倫理と接遇) 3.圏域の医療情勢を理解し、看護師の役割を認識して他職種や地域と連携して行動できる(高齢者医療・退院支援) 4. 看護師として倫理観を身につけ、業務を遂行することができる(看護倫理)			・eラーニング研修全体管理と運営 ・進捗状況管理は職場責任者 ・集合研修開催 ・各職場OJTアナウンス ・看護倫理研修は佐久大学講師によるシリーズ研修を実施	
主任		1.自己の管理観を述べる事ができる 2.スタッフの能力開発ができる 3.問題解決能力を身につけることができる 4.看護記録の監査 5.リーダーシップ能力、コーチング能力を身につけることができる	6.自らのスキルアップを図る 7.災害看護の基本を学び、技術を習得する 8.学研ナーシングメソッドの編集を行いマニュアル化する		・eラーニング看護管理者特別コース ・厚生連幹部看護師研修 ・看護管理者研修 Fレベル	
師長		1.目標管理を遂行できる 2.自らが研鑽する姿勢を持ち、看護単位の技術・知識・態度の向上に寄与できる 3.看護単位全体の運営に責任を持ち、看護単位における最良のマネジメント能力を駆使できる 4.災害看護の基本を学び、技術を習得する			・eラーニング看護管理者特別コース ・厚生連幹部看護師研修 ・看護管理者研修Sレベル-5月	通年
看護補助者		1.療養環境に常に気を配ることができる 2.安全なケアができる 3.人権を尊重した対応ができる 4.組織の一員として自覚を持った責任ある行動がとれる	・看護補助者研修 年6回(5月～翌1月)	・看護補助業務への積極的な取り組みを通して学ぶ ・職場内での必要な知識、情報の交換(6、8、10、12、2月)	・感染対策 ・医療安全・接遇と倫理 ・BLS体験学習 ・車椅子移動、処置時等の方法 ・取り組み発表会 ・食事介助 ・eラーニング看護補助者コース(全9コース) ・アンガーマネジメント研修	通年
病院全体研修		・医療安全研修会 ・接遇改善研修会 ・感染対策研修会 ・倫理委員会研修会 ・救急診療委員会研修会 ・緩和ケア研修会 ・NST公開講座	・褥瘡対策委員会研修会 ・コンプライアンス研修会 ・各種公開講座 ・在宅支援(訪問看護、介護保険、精神科看護研修等) ・認知症疾患医療センター研修会 ・地域医療連携懇話会 ・その他、トピックス研修会、Web講演会	・各種厚生連研修会 ・復帰支援プログラム ・中途採用プログラム *eラーニングについては、年度当初にMBO面接にて選択しておく。各職場責任者は進捗状況の管理を行い、受講を奨励する受講にあたっては、テスト合格をもって修了とみなす。 *OJTについては、4月中に各職場の予定を集約し一覧表を作成。その一覧にもとづいてどこの部署のOJTについても他部署からの参加を可能とする。	通年	